

ハイレベル構文

ガイダンス

A はじめに

この講座の趣旨

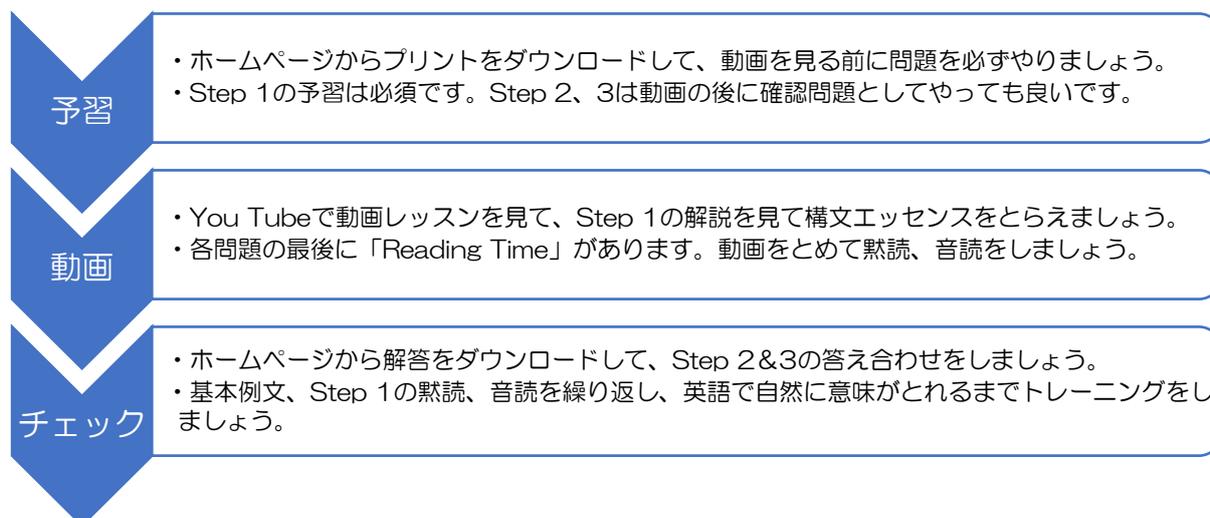
この講座は英語の文法、構文のエッセンスを文章の中でとらえていくという趣旨の講座です。文法が整理できていない、単語は分かっているけど英文の意味が分からない、なんとなく読んでいただけで十分な理解ができないといったことがありますよね。この講座では「文法、構文のあいまいな点を整理して、それを文章の中で理解できるように、自分で話せるように、書けるようにすること」を目的としています。

この授業は構文や英文解釈の授業なので、英文をじっくり精読し、時に分析的に読んでいただきますし、和訳、英訳もします。ある意味古典的な文法や訳読の授業です。そしてオンライン授業ですから私が一方的に話します。しかし、それは英語学習の王道では全くありませんし、ましてコミュニケーション能力向上を目指した授業ではありません。本来なら英語を英語のまま理解する力、分からない文法や単語が多少あってもコミュニケーションを取れる力、自分のわかる言葉で表現する力を伸ばしていかなくてはなりませんし、そのような学習を目指さない限り、受験でも社会に出てからも英語ができるようにはなりません。この講座も焦点は英文解釈や構文理解であっても、あくまでも目指すべきゴールは「文法、構文のエッセンスを理解し、体系的なトレーニングを積み重ねていくことで、自然と英語が読め、話せる、書ける素地を育成すること」です。ただ英文を読み、解説聞いて意味が取れたとしてもそれだけでは意味がなく、「人生でもう二度と出会うことのないかもしれない英文を解説してもらって分かった」というだけにすぎません。必ず予習をし、動画レッスンでポイントをつかみ、音読や英作文を繰り返して、やるからには自分の英語力につなげられるように取り組みましょう。

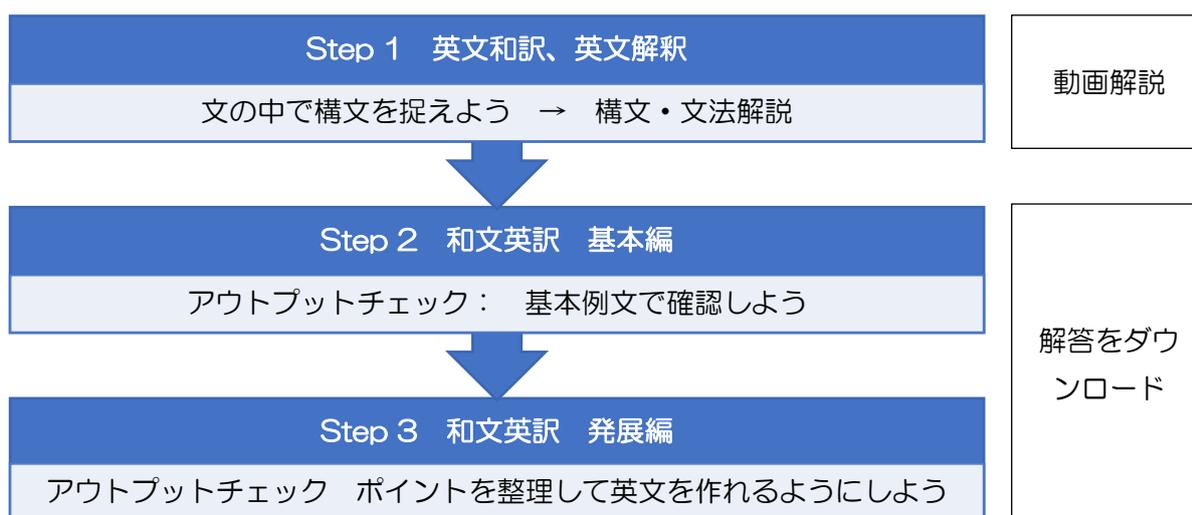
講座のレベル

講座名が示す通り、授業の難易度はハイレベルに設定しますので難しい英文を扱います。英文は実際の入試問題や英語の新聞記事から中級～上級のものを選んでいきます。しかも、上級者の学習モチベーションに添えるように難関私大や国公立、医学部を中心に問題をセレクトしていきます。（高3として）中級以上の単語力、読解力を持っている必要があり、上級者にとっても手ごわい問題があるかと思います。一方で幅広い生徒がチャレンジできるように解説はなるべく丁寧にし、文法、構文のエッセンスは基礎レベルから発展レベルまで説明をカバーするように進めています。まずはじっくり問題に取り組み、動画を見て、さらに復習やアウトプットトレーニングを自主的にすることが大切です。とにかく積み重ねこそ力になります。

B 授業の流れ



レッスンの構成 - 3ステップ構成



Step 1 は英文解釈・和訳問題です。本来なら先にポイントを説明して、その次に発展問題としてこのような和訳に取り組む構成がオーソドックスですが、この講座は「実際の英文の中で構文を捉える力」に焦点を置いているので、先に問題に取り組み、その後に関連する文法や構文のポイントを確認します。動画では基本的な解説もありますが、表面的な理解ではなく、エッセンスをつかむための解説ですので見ていただくと参考になるかと思います。1 つ気を付けてほしいことがあります。この授業では英文解釈・和訳中心にやりますが、和訳を書いて写しているようでは英語の力なぞ伸びる道理がこれっぽっちもありません。無駄です。なぜなら、この授業は英語の授業だからです。日本語をどんなに必死に書いて英語学習になるわけがないのです。当然ですね。解説では、和訳にこだわるのではなく、解説や模範解答を通して英語として読めていなかったところを把握し、それを英文を読んでしっかりとらえて下さい。そして、和訳を書いたことに満足せずに、その後、英語で読んで「和訳の意味する通りに英語のまま理解できたか」を確認

してください。もう一度言いますが、これは英語の授業です。英語の力を伸ばさないと意味がありません。

なお、Step 1 では各問題解説が終わった後に「Reading Time」があります。動画を止めて、黙読を 1 回、音読を 1 回行ってください（動画は 7 秒後に次のスライドに入ってしまう）。

Step 2 は基本例文です。構文はその名の通り「英文を構築する」ためのものです。いくら精読で英文を理解できても使えなくては意味がありません。Step 1 のアウトプットチェックとして取り組みましょう。英文がすらすらと出てくるぐらい何度も音読をし、何度も書いて英文を吸収しましょう。

Step 3 はやや難易度の高い和文英訳です。Step 2 の基礎例文をもとに、文法ポイントを整理して英文を作れるようにチャレンジしてみましょう。

また、Step 1～3 全てにおいて単語にはかなり意識をして問題を作っています。受験で必要な中級～上級の単語や表現が至る所に散りばめられています。相当な単語学習にもなると思いますので、単語の確認、復習も怠らないようにしてください。

予習は必ずやる！！自分の力で答える。分からないところも空欄を作らない。

必ず事前に自分の力で問題をやってから動画レッスンに入りましょう。難しい問題を簡単にギブアップをしてしまう人がいますが、入試で白紙解答はあり得ません。分からなくても、間違っても自分の力で解答を出そうと努力していなければ解説を見ても「分かったふり」のままで吸収するものはありません。難しい単語、表現もありますが、辞書を引ながら答えてはダメです。受験で辞書を引けますか？もしくは、分からない部分を空欄にして虫食い状態のような訳を作る人がいますがもってのほかです。分からない単語を文脈で推測しながら、そのニュアンスに近い言葉を自分の力で書いてください。特に自信のないところは線を引いて置き、解説を見てその単語の意味や訳を確認しましょう。

Step 2、Step 3 の和文英訳については Step 1 と共に先にやってもよし、動画を見てから確認問題として取り組むのもよし。自分の目的やスタイルに合わせてやってください。ただし、オンライン授業ですから動画を見て授業が終わった気になってしまう傾向がありますので、動画の後にまた問題に戻るのが面倒くさくってしまう人は先に Step 3 までやっておきましょう。

和訳は必要なのか？質はどこまでこだわるのか？

はっきり言います。英語は英語で理解できればいい。細かいことも拘らなくて結構。和訳は不要です。国公立を中心に和訳が出題される場合は訳を整える力も必要ですが、本来は英語の理解力を効率的に測る「手段」にしかすぎないはずの和訳ですが、時に和訳することがあたかも英語学習のゴールになってしまっているのは非常に残念ですし、英語が理解できているのに無能な出題者、採点者の機械的採点方法によって間違った評価を受けることがあることもバカバカしい事実です。

しかし、この講座では和訳の質にもこだわってください。前後の文も読み、文脈をしっかり理解した上で、少なくとも筆者の言いたいことを表せる訳文にしてください。構文と単語を捉えて機械的に訳にすることができても、何を言っているのか分からないということがあります。それこそ訳がゴールになってしまっていて、コミュニケーションとして英文を理解することが不足し

ているのです。「確かに辞書にはそういう意味で載っているだろうけど、作者の本意が分かっているならばこういう言葉を使うべきではないか」ということも自分で考えてください。ただ訳ができるだけでなく、「どういうこと？」と聞かれて、その文章で筆者が表したいことまで説明できたら、それが本当の意味で読解できたということです。ちなみに、英文の理解がうまくできない理由が2つあります。1つはあなたの読解力不足です。もう1つはそもそも筆者の英文が下手くそ、ポンコツだからということもあります。後者の場合もたくさんありますのであまり神経質にならないように。ただし、この講座で出題するものはポンコツ英文は基本的に排除しています。

では、何を持って質の高い訳とするのか？まず大前提として2つあります。1つ目は「本文を読んでいない人が初めて読んで意味が分かる訳」であることです。和訳にしる、他の記述問題にしる、それが英語であろうが他教科であろうが、相手が分からない文でしか書けないということは言葉に表せるほど自分自身が十分に理解していないということになります。2つ目は「本文を読んだ人が、そうだよ、と同意できる訳」であることです。当たり前です。同じ本文を読んでいるのに、(受け取り方の個人差というレベルは置いておくとして)2人の読み手の理解が一致しないのなら、それはどちらかが理解していないということです。その上で、上述の通り、前後の文脈を捉え、筆者の言いたいことを伝えられる訳を質の高いものとしてください。

復習： 何度も読んで、何度も書いて「自然と分かる、自然と使える」ようにする。

冒頭に述べたようにこの講座の目的は「文法、構文のエッセンスを理解し、体系的なトレーニングを積み重ねていくことで、自然と英語が読め、話せる、書ける素地を育成すること」です。では、体系的なトレーニングとして何をすればよいのか。単純です。何度も読み、何度も書いて復習してください。Step 1 はレッスン終了時点では、あくまでも「じっくり読んで、構文を分析して、和訳して理解をした」だけにすぎません。これでは次に同じような文に出会った時にまた分析しないと読めない、訳をしないと意味を取れない、ということが続いてしまいます。さらっと読んで英語を英語のまま理解し、その中で自然と構文や単語の意味も取れる、というようにならないと分析癖、和訳癖は治らず、結局英語力が伸びないままです。黙読、音読を繰り返してください。復習で読む際に1点アドバイスがあります。分からない単語、表現を蛍光ペンでマークして、読んでください。それだけで文章の中で単語の意味が吸収できるようになります。

Step 2 は音読必須です。この基礎例文は暗唱できるぐらいまで音読をし、そして当たり前のようには書けるようにしましょう。Step 3 は暗唱するには少し難しいので、こちらはあくまでもライティングトレーニング、構文のポイント整理として活用してください。

レッスン・プラットフォーム

レッスンの受講にあたって、教材・解答のダウンロード、録画視聴は以下のページをプラットフォームに行います (Max Classroom.net のトップページのバナーからも入れることができます)。

<http://www.maxclassroom.net/onlinestudy.html>